

追 悼

池 間 先 生 を 偲 ん で



池間博之先生が、6月30日に老衰のためお亡くなりになりました。

先生は1960年代アメリカから帰国され、留学中に勉強されたスコティッシュ・カントリー・ダンスを日本に紹介・普及することに力を注がれました。1975年にビル・クレメント氏の来日を実現、各地で講習会を開催しSCDの理解と普及を進めました。1963年に始めた「東京スコットランドダンスを楽しむ会」を母体に、1984年には3年間かけて準備した「東京ブランチ」が発足しました。

以降、ダンスの指導はもちろん、会場のお世話、ティーチャーの養成等、日本におけるSCDの普及に多大な尽力をされました。2004年にはRSCDSの功労賞を受賞されたことは私たちにとってもたいへん嬉しく誇らしいことでした。

埼玉ブランチの会員も2001年に「埼玉ブランチ」ができるまでは、東京ブランチの会員だった方も多く、特にティーチャーの方々は、トレーニングコースのために先生の厳しくも優しい指導を直接に受ける機会があり、貴重な体験になっていることでしょう。

私たちがSCDを楽しむことができるのは、先生のおかげと思います。

池間先生のご逝去に心からのお悔やみと、感謝をもってご冥福をお祈り申し上げます。

.....

池間先生の思い出

綾部まゆみ

初めて池間先生にお会いしたのは、1997年7月 preliminary test のペーパー試験を受ける前でした。理論についての疑問点、問題点、我々の質問などに熱心に答えて教えて下さいました。その時の私は準備不足を痛感し焦った記憶があります。その後は度々パーティーなどでお会いする機会がありました。先生は周囲の人々をととても楽しくして笑い声が絶えなかったように思います。浦和のパーティーにも度々参加して下さいました。今でもはっきり覚えていることは、同じセットになり walk through の後ダンスが始まり、先生は「君たちダンスよく覚えていられるね、僕は駄目だよ(覚えられない)」とおっしゃりとても楽しそうに踊られていたお姿を今でもはっきり覚えています。

知性と品位を

佐藤仁美

先生との最初の出会いはフォークダンスの中でした。SCDはその後ですが、よくおっしゃっていた言葉は“ただ踊っているだけじゃだめだよ、この踊りには知性と品位が必要だよ、勉強しなくちゃ”でした。そして日本女子体育大学の10年続いた公開講座「歴史的舞踊」のクラスに参加することになったのです。週1回でしたが本当によい貴重な体験でダンスの歴史を学ぶことができました。そんな中で日連主催の「1000人の舞踏会」のお手伝いは強く印象に残っています。

時には先生、時には仲間として長いお付き合いの中で特に心に残っている言葉(池間語録)

「解らないということが解っている人は良い、解らないということが解っていない人は困る。」

「踊りの順番を覚えるのは頭ですが、サークルを整えるのは心の問題です。」

「ハラハラ・ドキドキ・ワクワク」

彼岸で、先に渡ったスコティッシュ・ファミリーの皆さんと楽しく踊っておられることを祈って…。

素直で優しかった

田村妙子

「日本で最初に SCD を教えて下さった方で大学の先生よ」と松橋さんに紹介されました。「ヒー偉い人なんだー」恐れ多くて最初は遠くから見ただけでした。

もう何十年も前の話ですが、メリーマレーが来日されたときに浦和で教えていただき、資料もいただいたので面白いと、次の神田のクラス担当の時にそのダンスを皆さんにご紹介しました。「このダンスのあそこのフォーメーション僕が思っているのと違うような気がするんだよね」とクラス終了後におっしゃいました。私はメリーマレーに教えて頂いた直後でしたので自分なりに自信を持っていたのですが、「次回までに調べなおします」と申し上げ帰宅後即再チェック。やはり間違いないと確信、一か月後の神田、資料なども持参して「先日おっしゃったフォーメーションですが」と資料お見せしました。「えっ僕そんなこと言ったの？悪かったね、この通りでいいと思うよ」ふーっと気が抜けました。クラス中は何もおっしゃらず終了後の注意、そしてきちんと「悪かったね」の言葉。救われました。男性にしては珍しく素直で優しい面もお持ちの方でした。

あの明るい声と笑顔が忘れられない…

長峯真弓

1997 年 7 月末、長いお手紙を頂きました。教師試験が終わった時です。私は受験できませんでした、レスリー・マーチンによるプレミナリー・トレーニングは全て終わり、明日 **Dancing** の試験、パートナーも決まった時でしたが… 真夜中 2 時頃夫が迎えにきました。松橋順子さんがお部屋に迎えに来て、無言で廊下を歩きました。“お母さんが倒れたから帰ろう “ 母の葬儀など全てが終わったある日、先生から優しい言葉が送られてきました。”このような事態は今までになく、組織として貴女に対して何もしてあげられず申し訳ない、しかし又是非頑張って受験してほしい“ということでした。私の中ではとても再試験など考えるゆとりもなく悲しみに暮れる日々でした。しかし池間先生や良き先輩・友人たちに励まされ 3 年後再受験をして今に至っています。ご心配を頂いたので、先生にはその都度報告をし、先生の開催する勉強会にも参加させていただきました。ダンスばかりでなく、社交の踊りなので、“マナーも大切“というお話も度々聴きました。先生が下さったマナーのメモ、初心者講習やクラスではいつも伝え続けました。ダンス歴も大変長くなりましたが、初心を忘れず、“頑張ってるね！楽しんでるね！”と先生の声が聞こえるよう、又愛の有る素敵な池間先生ご夫妻を目標に、感謝しつつ歩んでいきたいと思っております。”池間先生有難うございました”

池間先生を偲んで

渡邊悦子

1997 年 Preliminary Test 受ける事となり始めて池間先生にお会いしました。

レッスンは **Step** と **Formation** で大変細かく、熱心に時には優しさと厳しさに私達を導いて下さいました。一番印象に残っているのは **Step** 練習の足の運びを、カメラ片手にご自分も走りながらカチャカチャ…と何枚撮ったのでしょうか、写真を見せながら次のアドバイスを頂き繰り返し行い頭も体力も限界まで池間先生について行きましたね。

思い出は忘れられず、今迄も今後も池間先生の教えを思い出しながら S, C, D を継続できますよう見守って下さい。

池間先生ありがとうございました。

…… 心 から ご 冥 福 を お 祈 り いた します ……